

第1編

基本構想

- 第1章 計画策定にあたって
- 第2章 越前町の概況
- 第3章 町民のまちづくりに対する意識
- 第4章 越前町の将来像
- 第5章 まちづくりの大綱

第1章 計画策定にあたって

第1節 計画策定の背景と趣旨

1. 背景

本町では、2005（平成17）年2月1日の新町制施行にあわせて、2006（平成18）年10月に「第一次越前町総合振興計画」、2016（平成28）年3月には「第二次越前町総合振興計画」を策定し、将来像である「人と技 海土里 織りなす 快適なまち ～越前 E-town brand のさらなる躍進～」の実現を目指し、基本計画を前期（2016（平成28）年度～2020（令和2）年度）と後期（2021（令和3）年度～2025（令和7）年度）の二期に分けて施策の見直し等を行い、各種まちづくり施策を展開してきました。

第二次越前町総合振興計画の計画期間は、2016（平成28）年度から2025（令和7）年度の10年間となっており、この10年間で新型コロナウイルスの流行による生活様式・働き方の変化、AI（人工知能）等の技術革新によるDX（デジタルトランスフォーメーション）の進歩など、社会情勢は大きく変化してきました。さらに、2024（令和6）年3月に北陸新幹線福井開業となり、本町においても、首都圏を含めた交流人口の拡大が期待されています。

今回、第二次越前町総合振興計画に基づき、積み上げてきた各種取り組みを発展させ、本町に暮らす人々が暮らしやすく、幸せを実感できるまちづくりを進めていくため、「第三次越前町総合振興計画」を策定します。

2. 趣旨

今後、多くの人々から選ばれ、住み続けることができる持続可能な「越前町」を実現していくためには、これまでの10年間で積み上げてきた種々の取り組みをさらに充実・発展させ、町民・企業・行政等が一丸となって、町に暮らす人々が幸せを実感できるまちづくりを実践していく必要があります。

第三次越前町総合振興計画は、「越前町人口ビジョン」「越前町総合戦略」の見直しを行い、人口ビジョン・総合戦略を踏まえた長期的な視点に立ち、今後10年間の町政の方向性や将来像を示した、本町におけるまちづくりの総合的指針となります。

本町は、多くの町民の参画と協働により、多様化する地域課題を克服し、人口減少が進行しても、町民が満足しながら幸せに暮らし続けられるまちづくりを目指します。

第2節 越前町総合振興計画の構成と役割

1. 計画の構成

まちづくりの取り組みが実を結ぶには相当の年月を要します。第三次越前町総合振興計画は、第二次越前町総合振興計画で示されたまちづくりの方向性を引き継ぎながら、時代の潮流を踏まえた、新たな視点・考え方を取り入れて策定しています。第三次越前町総合振興計画は、「基本構想」と「基本計画」により構成し、計画の具体化に向けては別途「実施計画」を策定することで、年度ごとの予算編成に反映していくものとします。

2. 計画の内容と期間

1) 基本構想

●長期的な視点に立ったまちづくりの構想

本町の将来像とその実現に向けたまちづくりの大綱等を示します。

計画期間は、2026（令和8）年度から2035（令和17）年度までの10年間とします。

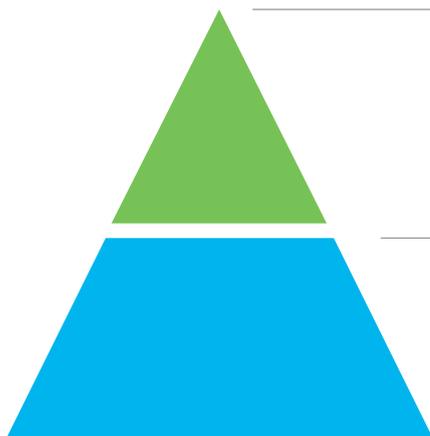
2) 基本計画

●構想実現に向けた施策の概要を示す計画

基本構想を実現するため、施策の体系に基づき、分野別の施策区分ごとの現状・課題、第二次越前町総合振興計画の実績と町民の評価、施策の展開方針、具体的な施策・事業を示します。

計画期間は、前期（2026（令和8）年度～2030（令和12）年度）と後期（2031（令和13）年度～2035（令和17）年度）に分け、それぞれ5年間とします。

【計画の構成と期間】



【基本構想】

- ・長期的な視点にたち、町の将来像やまちづくりの大綱など、基本的な方向性を示したもの
- ・計画期間…2026（令和8）年度～2035（令和17）年度（10年間）

【基本計画】

- ・基本構想の実現に向けて、分野別の施策体系に基づき、施策の展開方針や具体的な施策・事業を示したもの
- ・計画期間…前期：2026（令和8）年度～2030（令和12）年度
後期：2031（令和13）年度～2035（令和17）年度

○ 実施計画

●より具体的な事業化に向けた計画

越前町地域公共交通計画や越前町子ども計画など、基本計画に定めた各施策を展開するための具体的な事業を示したものであり、各年度の予算編成の指針となるものです。

第3節 踏まえるべき計画・方針

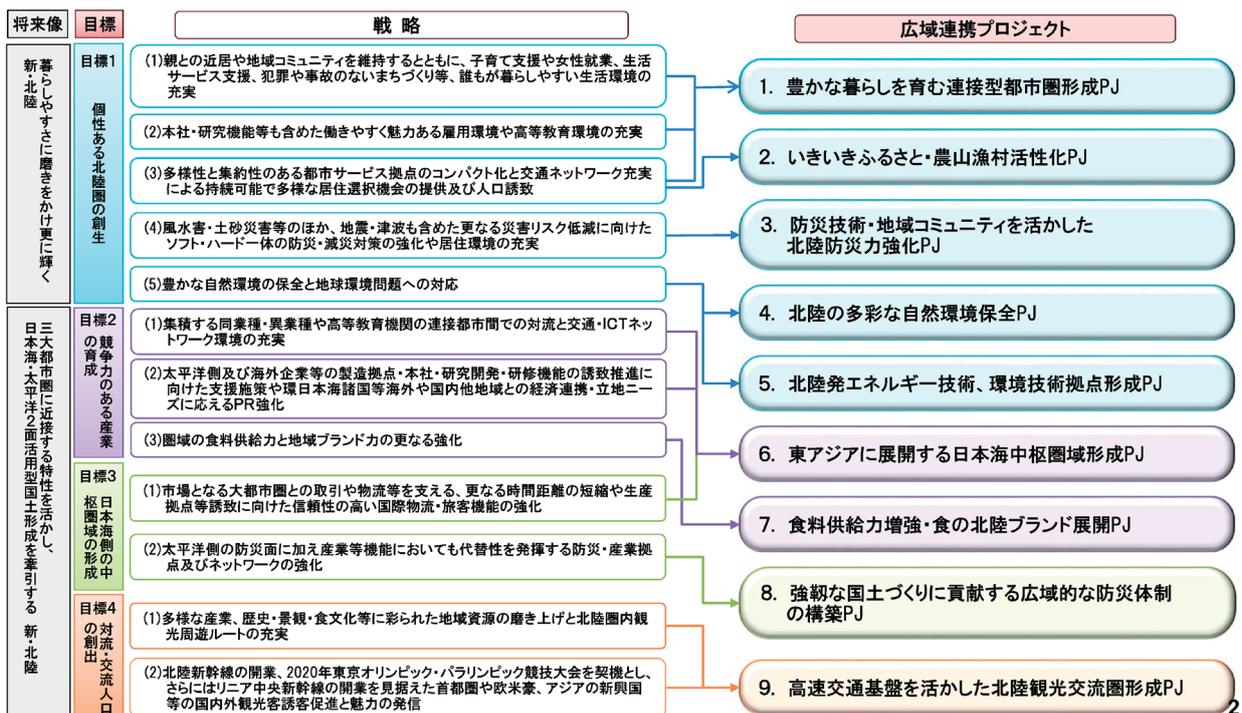
第二次越前町総合振興計画策定後、2016（平成28）年に「国土形成計画」及び「広域地方計画（北陸圏広域地方計画）」が策定され、国土を取り巻く厳しい状況変化に対応する多様な視点での国土づくり・地域づくりの方向性が示されました。2023（令和5）年3月には「北陸圏広域地方計画の推進について 令和3年度取組み」がまとめられ、戦略目標と広域連携プロジェクトが整理されています。

また、国では、2025（令和7）年6月に今後10年間を見据えた「地方創生2.0」の方向性を提示する「地方創生2.0基本構想」が閣議決定され、福井県では、2025（令和7）年に改訂した「福井県長期ビジョン」が打ち出され、人口が減少することを受け止めた上で、活力ある持続可能な社会を創出するための方針を示しています。

本町では、これらの広域的な流れを踏まえつつ、町民のニーズに沿った各種施策を実践していく必要があります。

■国土形成計画・北陸圏広域地方計画（2023（令和5）年：国）

【戦略目標と広域連携プロジェクト】



（資料：国土交通省資料）

■地方創生2.0（2025（令和7）年：国）

当面避けることのできない人口減少など我が国が直面する現実から目をそらすことなく、「強く」「豊か」で「新しい・楽しい」地方・日本の実現に向けて取り組む。

【基本構想の5本柱】

1. 安心して働き、暮らせる地方の生活環境の創生
2. 稼ぐ力を高め、付加価値創出型の新しい地方経済の創生～地方イノベーション創生構想～
3. 人や企業の地方分散～産官学の地方移転、都市と地方の交流等による創生～
4. 新時代のインフラ整備とAI・デジタルなどの新技術の徹底活用
5. 広域リージョン連携

■第3期ふくい創生・人口減少対策戦略（2025（令和7）年：福井県）

福井県長期ビジョンの基本目標（目標年次2040年）である「しあわせ先進モデル 活力人口100万人ふくい」の実現を目指す。

【基本戦略】

1. 希望が叶う結婚・出産・子育て応援の強化
2. 県内定着・UIターンの拡大
3. 若者に魅力ある仕事の創出とまちづくり
4. 持続可能な共生社会の実現

第2章 越前町の概況

第2章 越前町の概況

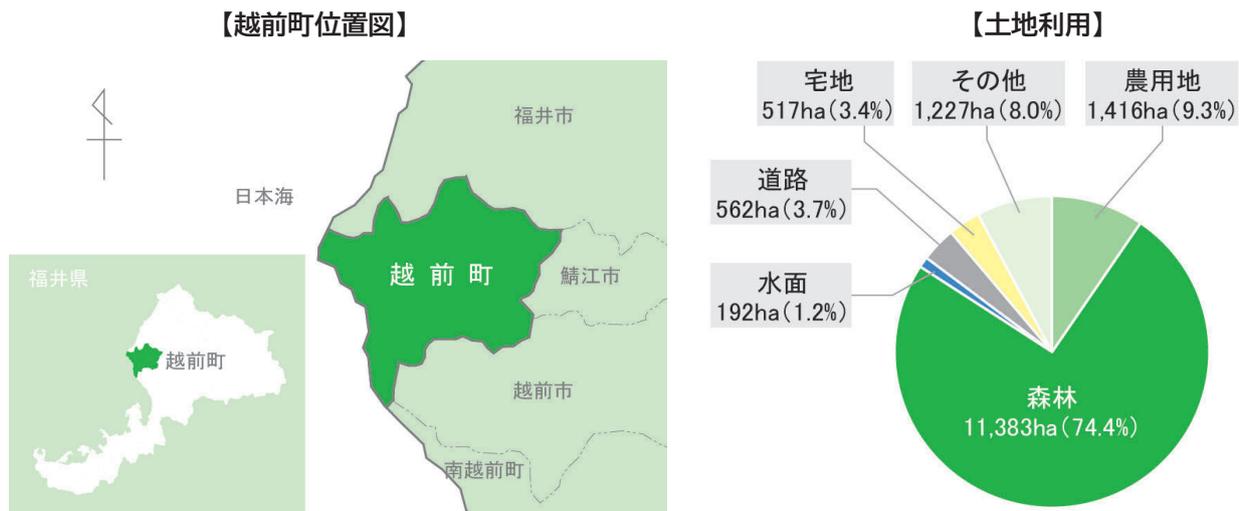
1. 地勢

● 海・盆地・山地など豊かな自然を有する

本町は、福井県嶺北地方の西端に位置し、東西17.9km、南北17.3km、面積は152.97km²で、西は日本海に面し、東は鯖江市、南は越前市並びに南越前町、北は福井市にそれぞれ接しています。

町の大半は丹生山地に属し、全体的に標高が高く、沿岸部から北部にかけて500m級の山々が連なっています。このため町域に占める森林の割合は74.4%と高く、農用地は東部に広がる越前平野と中央部の織田盆地、宮崎盆地に平地を残す以外は中山間地域に点在し、その割合は9.3%と低くなっています。

なお、沿岸部の山系を分水嶺として、東部は大半が天王川流域、沿岸部は梅浦川など複数の小河川の流域となり、天王川流域では山地の間を縫うように小規模な谷や盆地、河川が入り組んでいます。



2. 歴史・沿革

● 古くからの歴史的営みが色濃く残る

本町の歴史は古く、縄文時代にはじまるといわれ、打製石斧をはじめとする土器や古墳群等の遺跡が各地で出土していることから、古くから人々の営みがなされていたことがうかがえます。

中世以降、泰澄大師や戦国武将・織田氏一族といった歴史的人物のゆかりの地となるほか、越前焼の発祥地や海上交通の拠点として栄えてきました。

江戸時代には天領、福井藩、大野藩等に属し、その後、明治から昭和の大合併を経て朝日町・宮崎村・越前町・織田町となり、2005（平成17）年2月1日に4町村が合併し、現在の町域となりました。

3. 広域的な位置づけ

● 広域的な連携による事業展開

平成の大合併により自治体数が減少し、広域行政のあり方が見直されている中、現在も鯖江市や越前市を中心とした広域組合を組織しています。構成自治体が単独で行うには負担が大きい行政サービスの実施について、連携を図りながら共同事業を展開しています。

丹南地域の市町で構成されている福井県丹南広域組合では、構成市町の伝統や特性を尊重しながら、圏域の一体的な振興を目指し、電算処理業務・自治体情報システム標準化等を中心に効果的な施策を展開しています。

その他にも、県内全市町で構成される福井県後期高齢者医療広域連合による後期高齢者医療制度の効率的な運営や、鯖江広域衛生施設組合による新ごみ焼却施設の建設、公立丹南病院組合による広域地域における医療提供体制の確保等の施策を展開しています。

また、2024（令和6）年4月には、福井市を中心とした嶺北関係市町で「第2期ふくい嶺北連携中核都市圏ビジョン」を策定し、嶺北圏域全体の持続的な発展を見据え、7市4町が持つ多様な資源・産業・人材の活用や定住交流人口の増加のために必要な高次の都市機能の集積に向けた環境整備など、丹南地域だけでなく嶺北地域全体の広域的な連携による住民の生活関連機能・サービスの維持・向上の取り組みを推進しています。

● 新たな広域連携に向けて

2024（令和6）年3月には北陸新幹線が敦賀まで延伸され、丹南地区では「越前たけふ駅」が開業しました。新幹線の開業により、これまで以上に関東圏との距離が近くなり、人口減少が進む本町の交流人口拡大を図るため、福井県及び県内市町との広域連携による事業展開が重要となります。

4. 人口

● 本格的な人口減少と少子・高齢化の進行

本町の人口は、2020（令和2）年時点で20,118人であり、2000年以降、人口減少が顕著になってきています。世帯人員は3.10人/世帯と県平均（2.47人/世帯）を上回り、農山漁村集落を中心に多世代家族が多いものの、近年では核家族化が進行しています。

また、本町では少子・高齢化が進行し、高齢化率は36%と国や県に比べて高く、町民の3人に1人以上が高齢者（65歳以上）となっています。

5. 産業

● 農林水産業や伝統・地場産業が息づくまち

産業別就業人口は、第1次・第2次産業において減少傾向がみられますが、全国平均や県平均よりも就業割合は高く、地域特性を活かした農林水産業や越前焼に代表される伝統・地場産業が今も地域に息づいています。

また、基幹産業の一つである観光は、越前がにや越前水仙等の観光資源により、年間約158万人[※]の観光客が訪れ、県内有数の観光地となっています。

[※]観光客数は「令和6年 福井県観光客入込数（推計）」を参照

6. 行財政

● 持続可能で安定した自治体運営

合併以来、効果的・効率的な行政運営と健全な財政運営に努めてきましたが、景気悪化に伴う税収減や地方交付税の削減等により、現在も厳しい財政状況となっています。近年では、本町へのふるさと納税による寄附金が年々増加しており、貴重な収入源となっています。

一方で、町政の健全運営のため、ふるさと納税のさらなる推進など、自主財源の確保による財政運営が必要となります。

多様化・高度化する町民ニーズに応えつつ、持続可能で安定した自治体運営を行うためには、健全な行財政への取り組みが重要となります。

第3章 町民のまちづくりに対する意識

第1節 町民意識調査

1. 調査の概要

1) 調査の目的

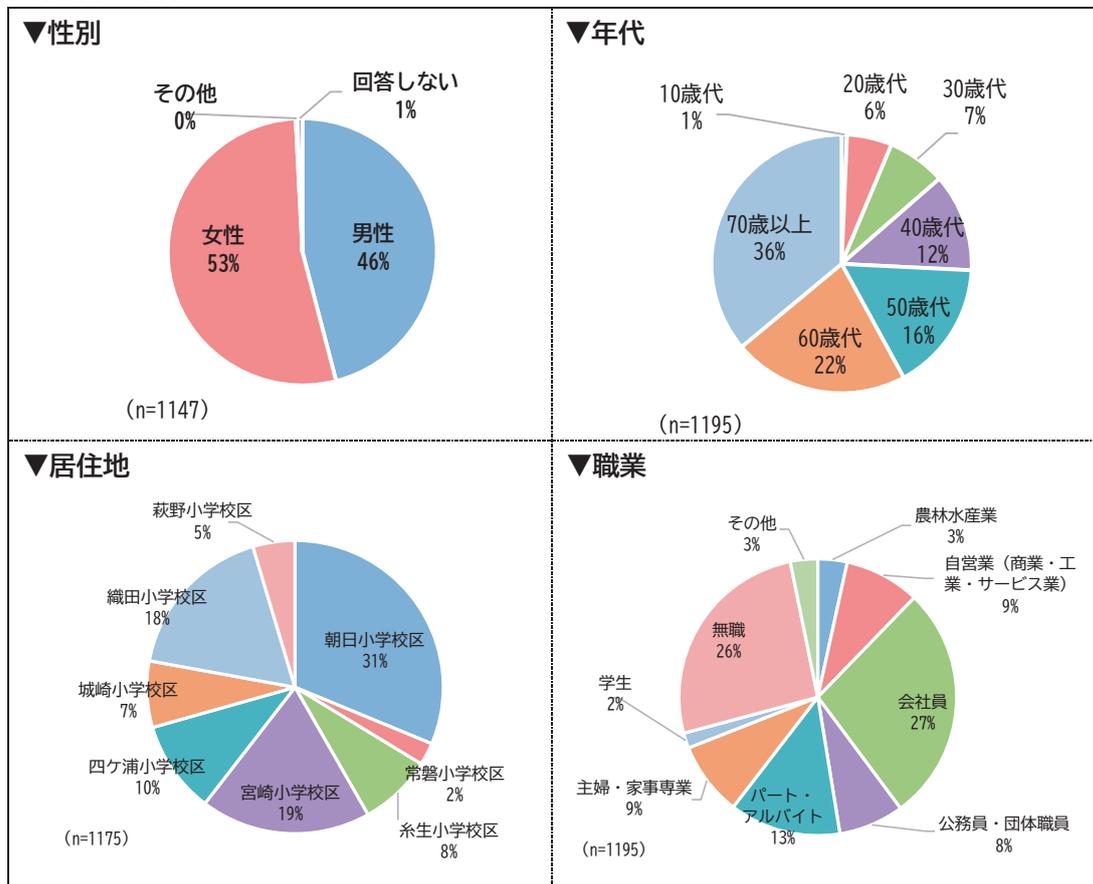
第三次越前町総合振興計画、2026（令和8）年越前町人口ビジョン、第3期越前町総合戦略の策定に向けて、本町での定住意向や各種施策への満足度、町民と行政の協働等に対する町民意識等を把握し、より良い町政を展開していくための基礎資料とします。

2) 調査の概要

- ◇調査対象：満18歳以上の町民2,900名
- ◇抽出方法：住民基本台帳から無作為抽出（層化多段抽出法）
- ◇調査方法：郵送（無記名回収）方式 ※回答はWEB回答も可能とした。
- ◇調査期間：2024（令和6）年9月9日（月）～9月30日（月）
- ◇回収数：1,203名（回収率：41.5%）

※集計結果の補足：「n」は各調査項目の有効回答数（無回答を除いた数）。
四捨五入の関係で%の合計が100%にならない場合がある。

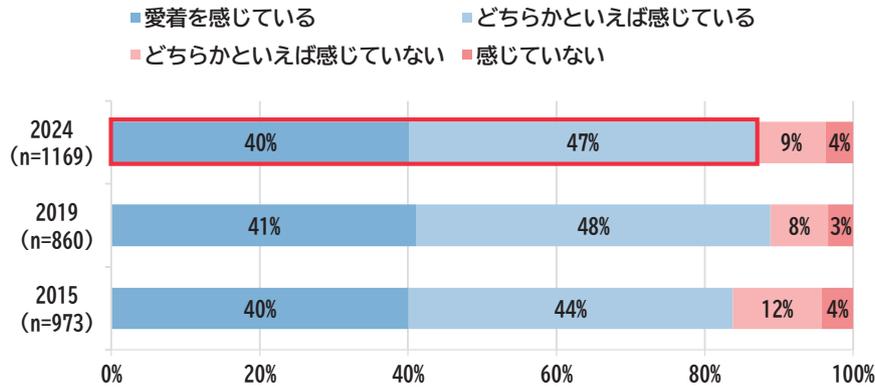
2. 回答者の属性



3. 越前町への愛着と定住意向

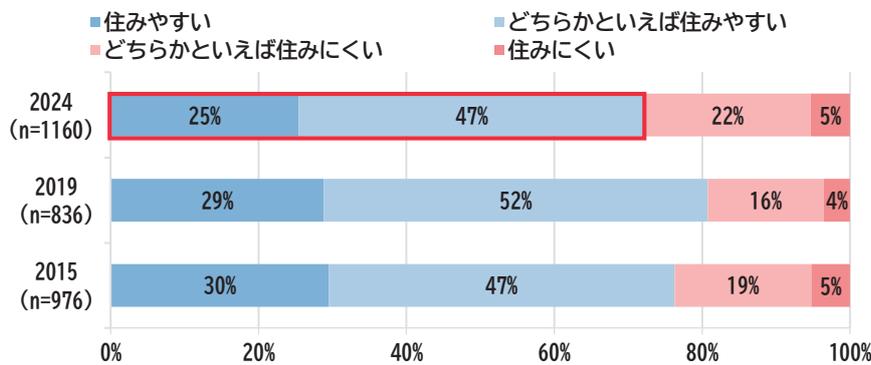
Q. あなたは、越前町に対して愛着を感じていますか？

◆越前町に対する愛着については、「愛着を感じている」「どちらかといえば感じている」の合計が約9割を占めています。調査年ごとの大きな変動はありません。



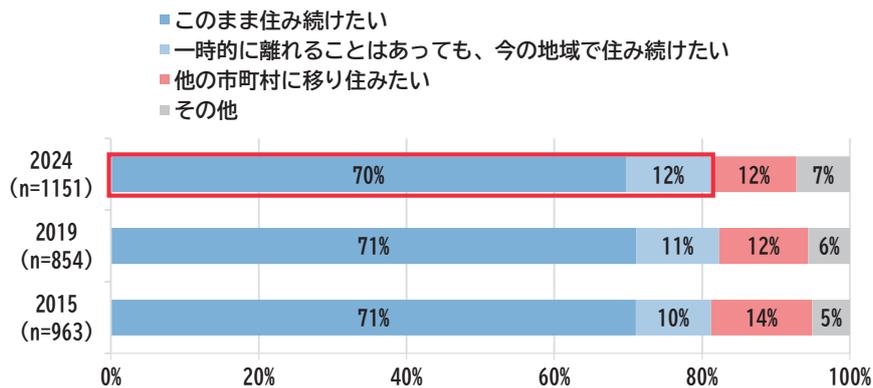
Q. あなたは、越前町を住みやすいところだと思いますか？

◆越前町の住みやすさについては、「住みやすい」「どちらかといえば住みやすい」の合計が7割以上を占めています。前回調査よりもやや減少しています。



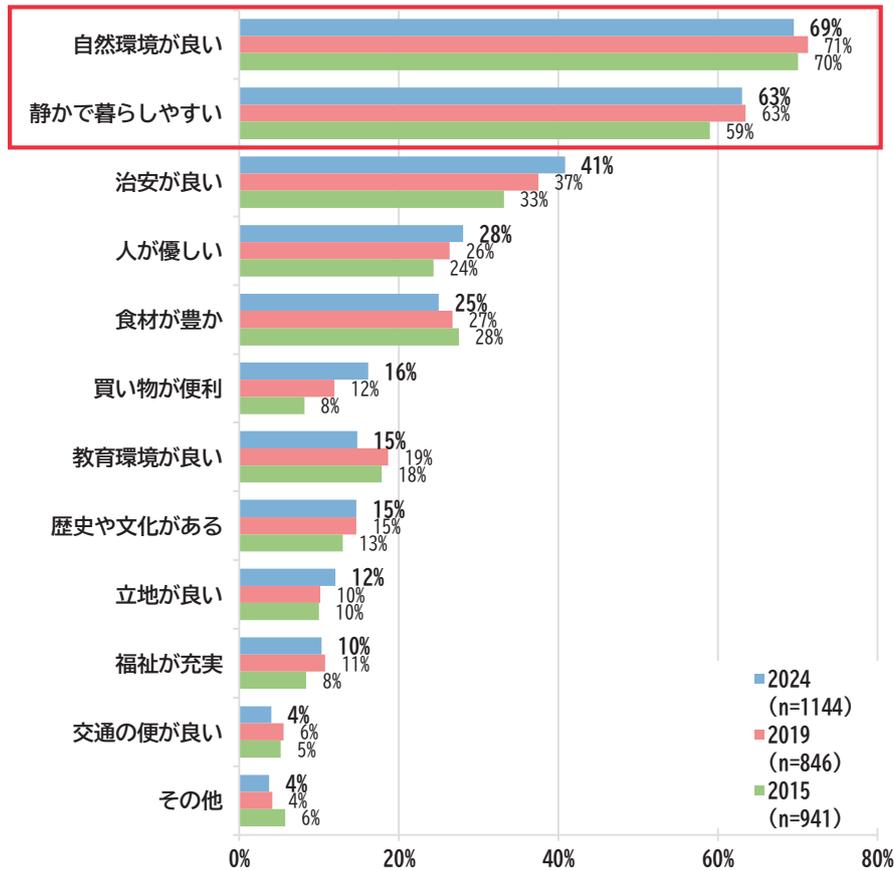
Q. あなたは、これからも越前町に住み続けたいと思いますか？

◆将来的な定住意向については、「このまま住み続けたい」「一時的に離れることはあっても、今の地域で住み続けたい」の合計が8割以上を占めています。調査年ごとの大きな変動はありません。



Q. 越前町に定住することは、他の市町村に比べてどんな点に魅力を感じますか？

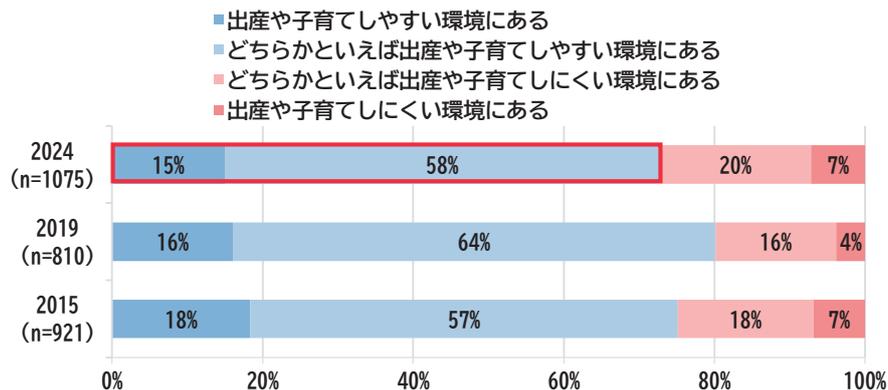
- ◆越前町の魅力については、「自然環境が良い」が約7割と最も多く、次いで「静かで暮らしやすい」が約6割と高くなっています。
- ◆「治安が良い」「買い物が便利」は調査年毎に増加しており、2015（平成 27）年調査と比較して8ポイント増加しています。



4. 結婚・出産・子育てに関する意識

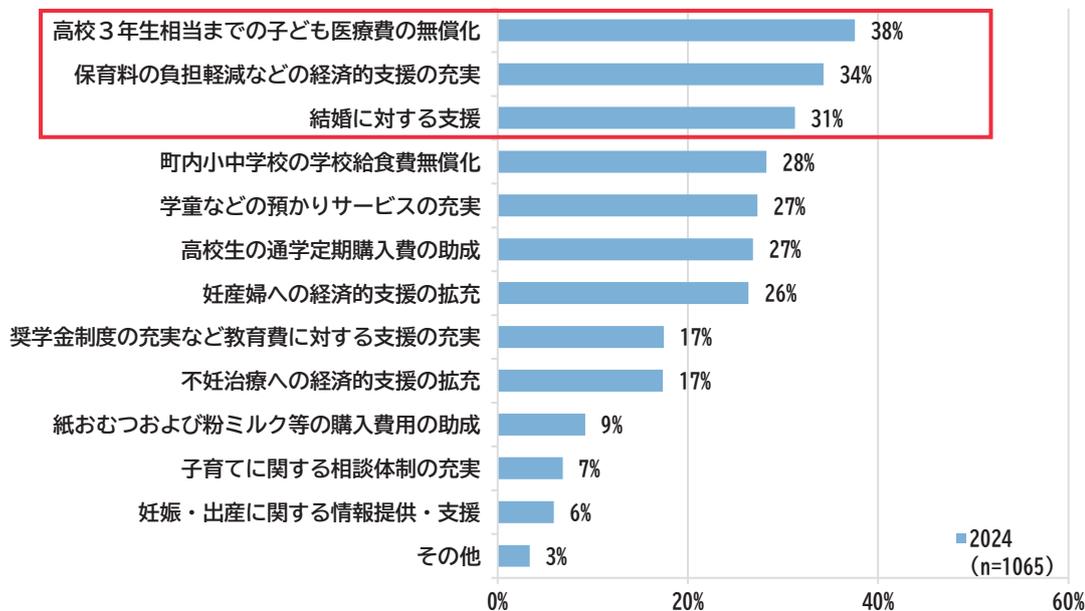
Q. 越前町は出産や子育てがしやすい環境にあると思いますか？

- ◆出産や子育てについては、「出産や子育てしやすい環境にある」「どちらかといえば出産や子育てしやすい環境にある」の合計が約7割を占めています。



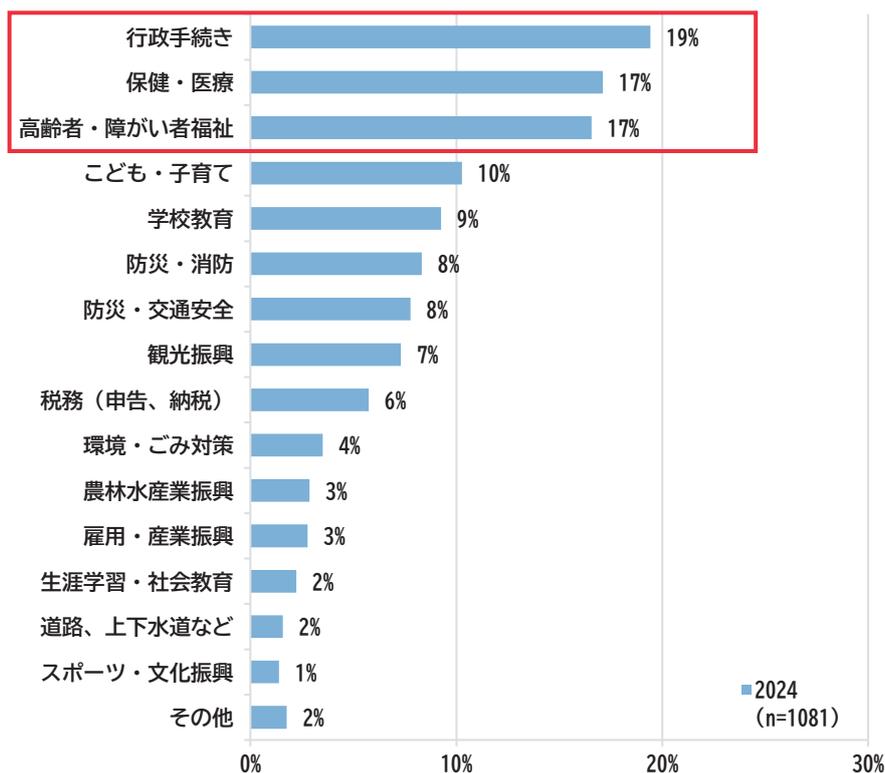
Q. 結婚・出産・子育て支援を進める上で、今後、越前町が充実すべきと思う施策は何ですか？

◆結婚・出産・子育てで充実すべき施策は、「高校3年生相当までの子ども医療費の無償化」「保育料の負担軽減などの経済的支援の充実（第2子以降保育料無償化）」「結婚に対する支援（婚活イベントの実施）」を充実すべきという意見が上位に挙げられています。



Q. 越前町の取り組みの中で、デジタル化が進むことを特に期待する分野を選んでください。

◆「行政手続き」「保健・医療」「高齢者・障がい者福祉」の分野に期待するとの意見が多くなっています。



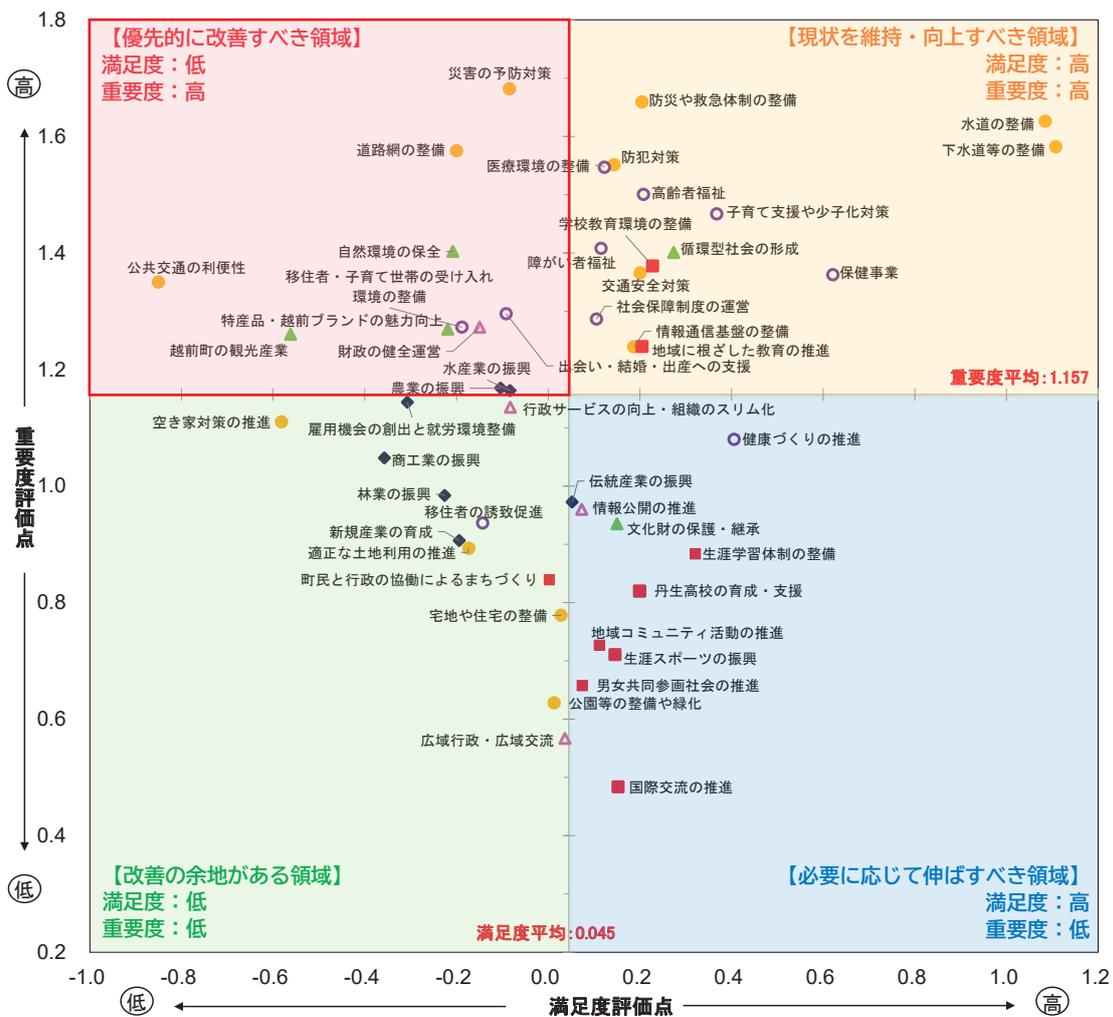
5. 各種施策の「満足度」「重要度」

第二次越前町総合振興計画・後期基本計画で示している48の施策について「満足度」と「重要度」の評価点を算出しました。また、本町における施策全体の総合評価(満足度)を算出しました。

これらの町民の評価を踏まえながら、今後の本町におけるまちづくりの課題を抽出し、課題解決のための主要事業や目標指標を設定しました。

【満足度－重要度グラフ】

- 1. 快適で安全に住み続けられるまちづくり
- 2. 誰もが健康で安心して暮らしやすさを実感できるまちづくり
- 3. 人が輝き豊かな心が満ちあふれるまちづくり
- ◆ 4. 人と仕事の活力みなぎるまちづくり
- ▲ 5. ふるさとの個性を活かし交流を育むまちづくり
- △ 6. 持続可能な健全行財政のまちづくり



【評価点の算出】
 ・満足度と重要度については、下記の計算式に基づき、数段階の評価に点数を与え、評価点を算出しました。
 ただし、無回答については除外しました。
 ・点数が高いほど満足度、重要度が高く、反対に点数が低いほど満足度、重要度は低くなります。

【評価点の算出式】
 満足度評価点 = { 満足である × (2点) + やや満足である × (1点) + やや不満である × (-1点) + 不満である × (-2点) + わからない × (0点) } ÷ 回答者数
 重要度評価点 = { 重要である × (2点) + やや重要である × (1点) + あまり重要でない × (-1点) + 重要でない × (-2点) } ÷ 回答者数

満足度が低く重要度が高い“優先的に改善すべき”項目は、「道路網の整備」「公共交通の利便性」「災害の予防対策」「出会い・結婚・出産への支援」「移住者・子育て世帯の受け入れ環境の整備」「農業の振興」「水産業の振興」「越前町の観光産業」「特産品・越前ブランドの魅力向上」「自然環境の保全」「財政の健全運営」となっています。特に、「災害の予防対策」「道路網の整備」の重要度が高くなっています。

【満足度及び重要度の評価点一覧】

			評価項目	満足度	重要度			
1	快適で安全に住み続けられるまちづくり	1-1	住みやすいまちを演出する都市基盤・公共施設の充実	1 道路網の整備	-0.200	1.575		
				2 公園等の整備や緑化	0.013	0.628		
				3 水道の整備	1.085	1.626		
				4 下水道等の整備	1.108	1.582		
				5 情報通信基盤の整備	0.187	1.239		
				6 適正な土地利用の推進	-0.173	0.893		
				7 宅地や住宅の整備	0.028	0.778		
				8 空き家対策の推進	-0.582	1.110		
				9 公共交通の利便性	-0.850	1.350		
	1-2	くらしの安全確保	1 災害の予防対策	-0.085	1.682			
			2 防災や救急体制の整備	0.205	1.659			
			3 防犯対策	0.144	1.551			
			4 交通安全対策	0.201	1.366			
2	誰もが健康で暮らしやすさを実感できるまちづくり	2-1	安心して暮らし続けられる保健・医療と福祉の充実	1 健康づくりの推進	0.406	1.080		
				2 保健事業	0.621	1.363		
				3 医療環境の整備	0.123	1.547		
				4 子育て支援や少子化対策	0.368	1.467		
				5 高齢者福祉	0.208	1.500		
				6 障がい者福祉	0.115	1.408		
				7 社会保障制度の運営	0.105	1.286		
	2-2	安心して結婚・移住・定住できる環境づくり	1 出会い・結婚・出産への支援	-0.092	1.296			
			2 移住者・子育て世帯の受け入れ環境の整備	-0.188	1.273			
			3 移住者の誘致促進	-0.143	0.937			
3	人が輝き豊かな心が満ちあふれるまちづくり	3-1	町民主体のまちづくりの推進	1 町民と行政の協働によるまちづくり	0.003	0.839		
				2 地域コミュニティ活動の推進	0.112	0.727		
				3 男女共同参画社会の推進	0.074	0.658		
		3-2	次世代を担う人材育成	1 生涯学習体制の整備	0.321	0.884		
				2 生涯スポーツの振興	0.146	0.711		
				3 学校教育環境の整備	0.228	1.378		
	4	4-1	地域資源と共生する産業の振興	1 農業の振興	-0.104	1.168		
				2 林業の振興	-0.225	0.983		
				3 水産業の振興	-0.083	1.164		
				4 商工業の振興	-0.357	1.048		
				5 伝統産業の振興	0.053	0.972		
				6 新規産業の育成	-0.194	0.906		
	4-2	雇用環境の充実	1 雇用機会の創出と就労環境整備	-0.307	1.144			
			5	5-1	観光地としての新たな魅力向上	1 越前町の観光産業	-0.562	1.260
						2 特産品・越前ブランドの魅力向上	-0.219	1.269
				5-2	まちの魅力となる地域資源の保存と継承	1 自然環境の保全	-0.207	1.402
2 循環型社会の形成	0.274	1.401						
3 文化財の保護・継承	0.150	0.935						
6	持続可能な健全行財政のまちづくり	6-1	自主自立型の行財政基盤の確立	1 行政サービスの向上・組織のスリム化	-0.082	1.135		
				2 情報公開の推進	0.074	0.960		
				3 財政の健全運営	-0.149	1.272		
				4 広域行政・広域交流	0.037	0.567		
平均				0.045	1.157			
7	総合評価			越前町における施策全体の総合評価	-0.096	-		

■ 優先的に改善すべき項目、■ 現状を維持・向上すべき項目、■ 必要に応じて伸ばすべき項目、■ 改善の余地がある項目（【満足度－重要度グラフ】の領域の色に対応）

前回（2019（令和元）年）調査の満足度、重要度の上位10項目と比較すると、満足度では「子育て支援や少子化対策」が前回の16位から今回は5位に上昇しています。重要度では、「水道の整備」「下水道等の整備」が前回から順位が上昇しています。

【満足度の上位10項目、下位10項目】

順位	項目	満足度	前回順位 (2019年)
1位	下水道等の整備	1.108	1位 (→)
2位	水道の整備	1.085	2位 (→)
3位	保健事業	0.621	3位 (→)
4位	健康づくりの推進	0.406	4位 (→)
5位	子育て支援や少子化対策	0.368	16位 (↑)
6位	生涯学習体制の整備	0.321	5位 (↓)
7位	循環型社会の形成	0.274	20位 (↑)
8位	学校教育環境の整備	0.228	6位 (↓)
9位	高齢者福祉	0.208	12位 (↑)
10位	地域に根ざした教育の推進	0.205	8位 (↓)
39位	新規産業の育成	-0.194	39位 (→)
40位	道路網の整備	-0.200	43位 (↑)
41位	自然環境の保全	-0.207	28位 (↓)
42位	特産品・越前ブランドの魅力向上	-0.219	41位 (↓)
43位	林業の振興	-0.225	38位 (↓)
44位	雇用機会の創出と就労環境整備	-0.307	45位 (↑)
45位	商工業の振興	-0.357	46位 (↑)
46位	越前町の観光産業	-0.562	—
47位	空き家対策の推進	-0.582	48位 (↑)
48位	公共交通の利便性	-0.850	49位 (↑)

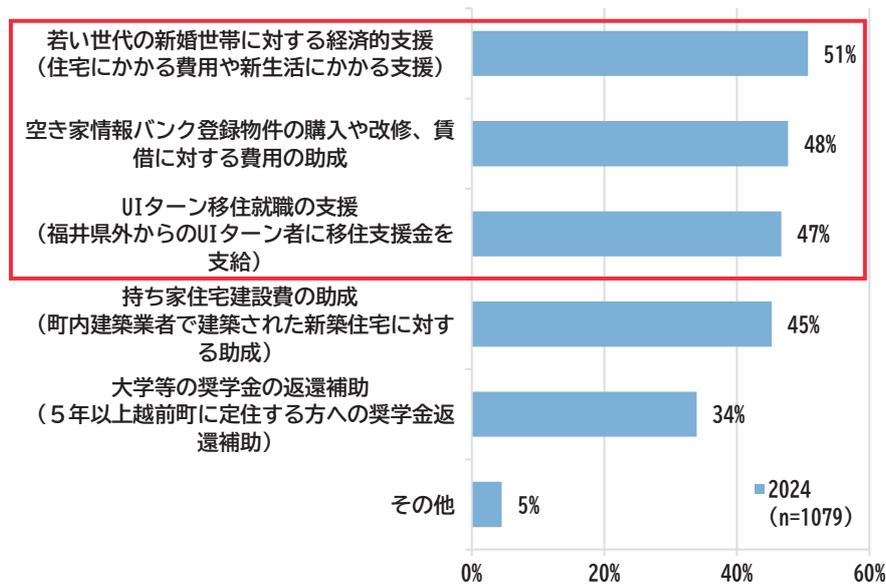
【重要度の上位10項目、下位10項目】

順位	項目	重要度	前回順位 (2019年)
1位	災害の予防対策	1.682	1位 (→)
2位	防災や救急体制の整備	1.659	2位 (→)
3位	水道の整備	1.626	12位 (↑)
4位	下水道等の整備	1.582	11位 (↑)
5位	道路網の整備	1.575	3位 (↓)
6位	防犯対策	1.551	5位 (↓)
7位	医療環境の整備	1.547	4位 (↓)
8位	高齢者福祉	1.500	8位 (→)
9位	子育て支援や少子化対策	1.467	6位 (↓)
10位	障がい者福祉	1.408	10位 (→)
39位	生涯学習体制の整備	0.884	41位 (↑)
40位	町民と行政の協働によるまちづくり	0.839	37位 (↓)
41位	丹生高校の育成・支援	0.820	—
42位	宅地や住宅の整備	0.778	44位 (↑)
43位	地域コミュニティ活動の推進	0.727	40位 (↓)
44位	生涯スポーツの振興	0.711	45位 (↑)
45位	男女共同参画社会の推進	0.658	47位 (↑)
46位	公園等の整備や緑化	0.628	46位 (→)
47位	広域行政・広域交流	0.567	49位 (↑)
48位	国際交流の推進	0.484	48位 (→)

6. 人口減少対策の取り組みについて

Q. 越前町は以下の住まい・定住支援を実施していますが、今後、さらに充実すべきと思う施策は何か？

- ◆「若い世代の新婚世帯に対する経済的支援（住宅にかかる費用や新生活にかかる支援）」「空き家情報バンク登録物件の購入や改修、賃借に対する費用の助成」「U I ターン移住就職の支援（福井県外からのU I ターン者に移住支援金を支給）」を充実すべきとの意見が多くなっています。



第2節 中高生意識調査

1. 調査の概要

1) 調査の目的

将来の越前町を担う中高生が感じている「まちに対する思い」や「まちの課題」を総合戦略の策定や今後のまちづくりに反映させるための資料とします。

2) 調査の概要

<中学生>

- ◇調査対象：越前町内の中学校に通う中学生（中学1～3年生） 計513名
- ◇調査方法：中学校にて調査票を配布（無記名回収）方式 ※回答はWEB回答も可能とした。
- ◇調査期間：2024（令和6）年9月9日（月）～9月30日（月）
- ◇回収数：460名（紙：84名、WEB：376名）
- ◇回収率：89.7%

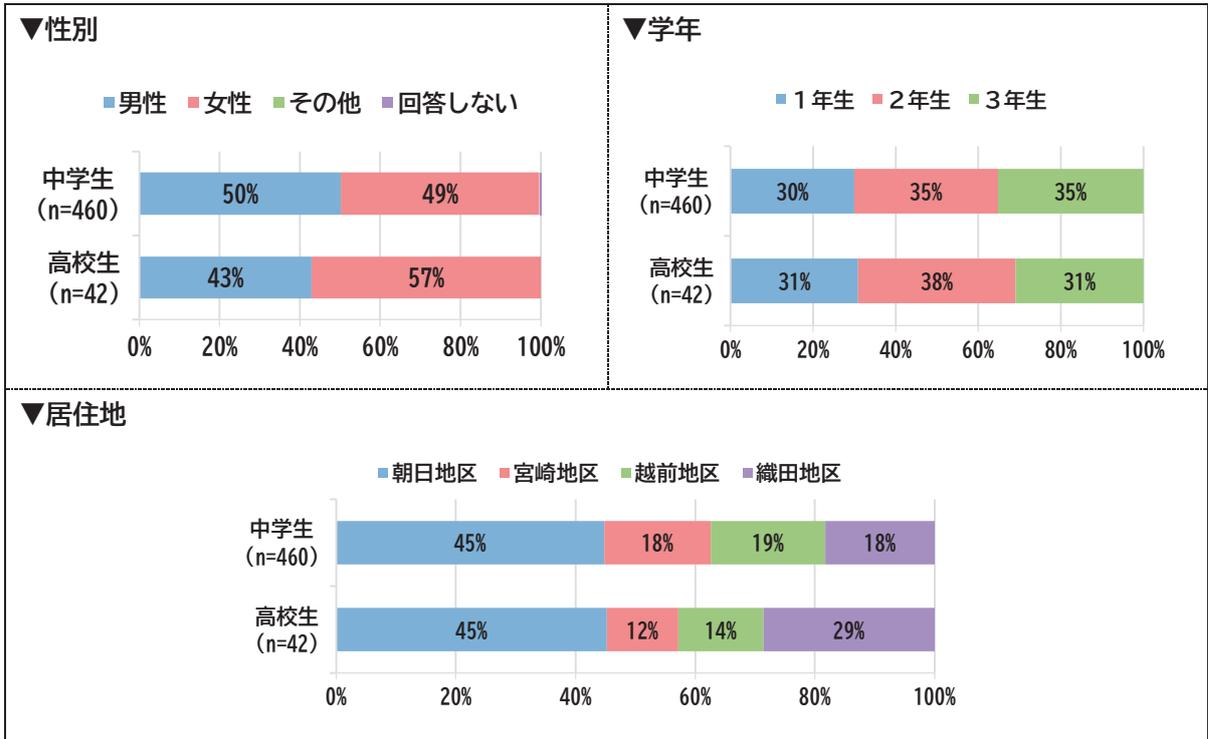
<高校生>

- ◇調査対象：16歳～18歳の越前町民100名
- ◇抽出方法：住民基本台帳から無作為に抽出
- ◇調査方法：郵送（無記名回収）方式 ※回答はWEB回答も可能とした。
- ◇調査期間：2024（令和6）年9月9日（月）～9月30日（月）
- ◇回収数：42名（紙：30名、WEB：12名）
- ◇回収率：42.0%

	配布先	配布数	回収数	回収率
中学生	朝日中、宮崎中、越前中、織田中の学生に配布	513名	460名	89.7%
高校生	町内在住の高校生（16～18歳）から無作為に抽出	100名	42名	42.0%

※集計結果の補足：「n」は各調査項目の有効回答数（無回答を除いた数）。
四捨五入の関係で%の合計が100%にならない場合がある。

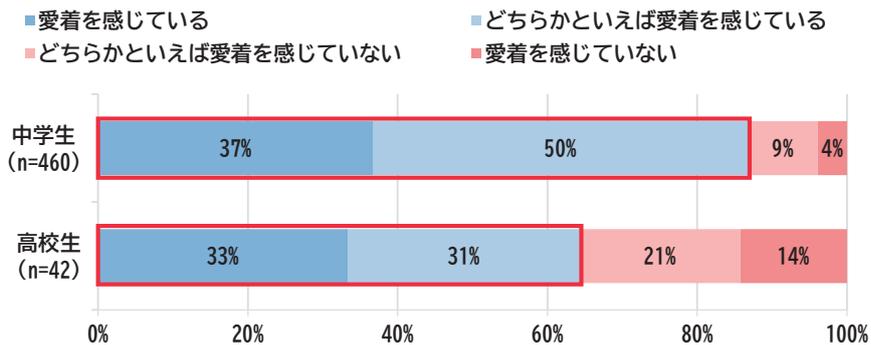
2. 回答者の属性



3. 越前町への愛着と定住意向

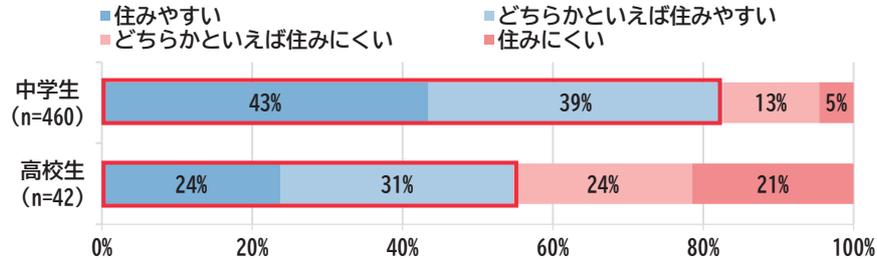
Q. あなたは、越前町に対して愛着を感じていますか？

◆越前町に対する愛着については、「愛着を感じている」「どちらかといえば愛着を感じている」の合計が、中学生では約9割、高校生では約6割を占めています。



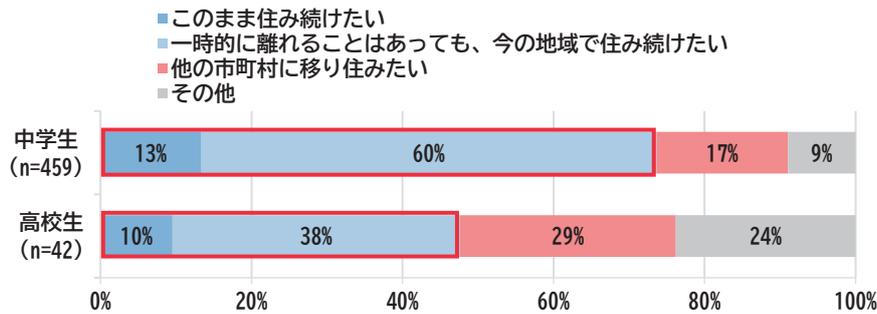
Q. あなたは、越前町を住みやすいところだと思いますか？

◆越前町の住みやすさについては、「住みやすい」「どちらかといえば住みやすい」の合計が、中学生では約8割、高校生では約6割を占めています。



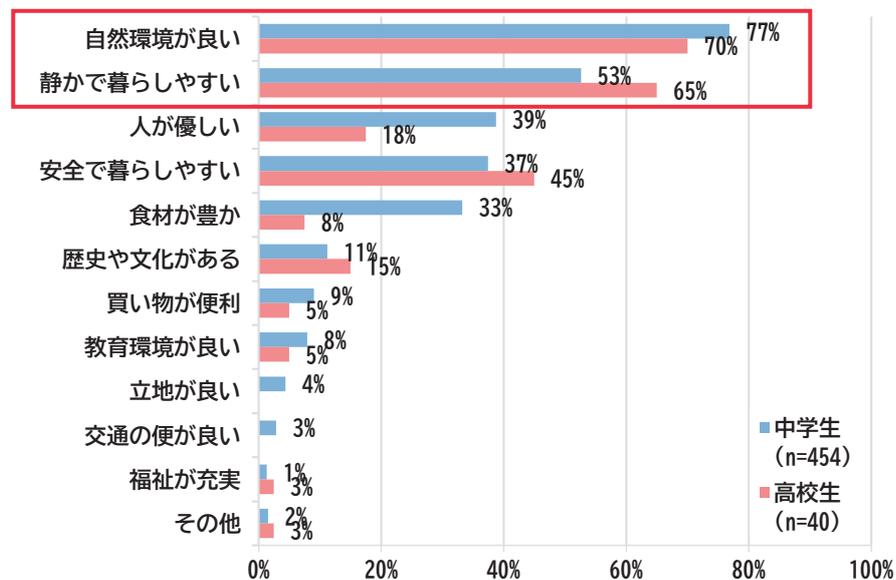
Q. あなたは、これからも越前町に住み続けたいと思いますか？

◆将来的な定住意向については、「このまま住み続けたい」「一時的に離れることはあっても、今の地域で住み続けたい」の合計が、中学生では約7割、高校生では約5割を占めています。



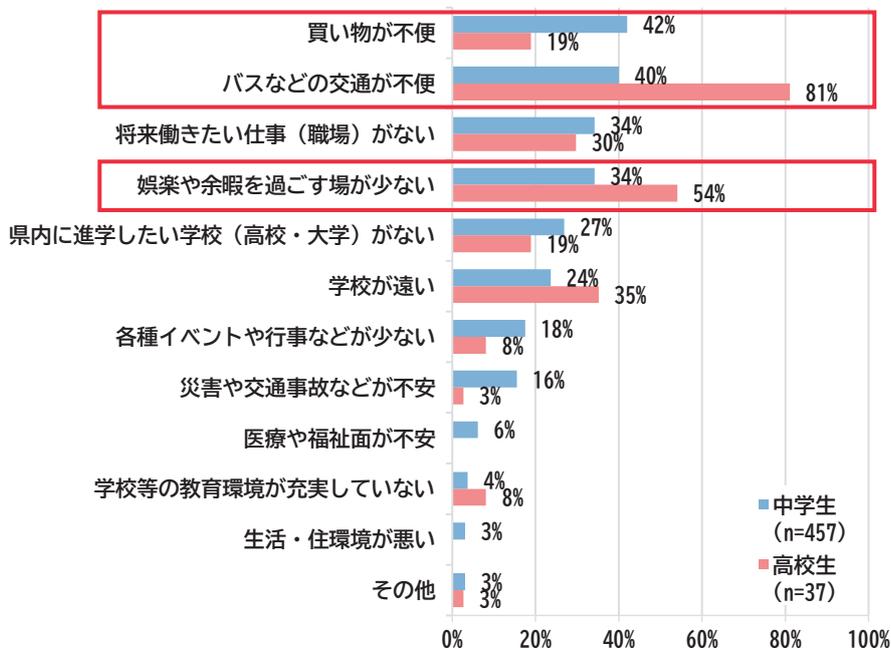
Q. 越前町に住んでいて、どんな点に魅力を感じますか？

◆越前町の魅力については、中学生、高校生ともに「自然環境が良い」が7割以上と最も多く、次いで「静かで暮らしやすい」が5～7割と多くなっています。



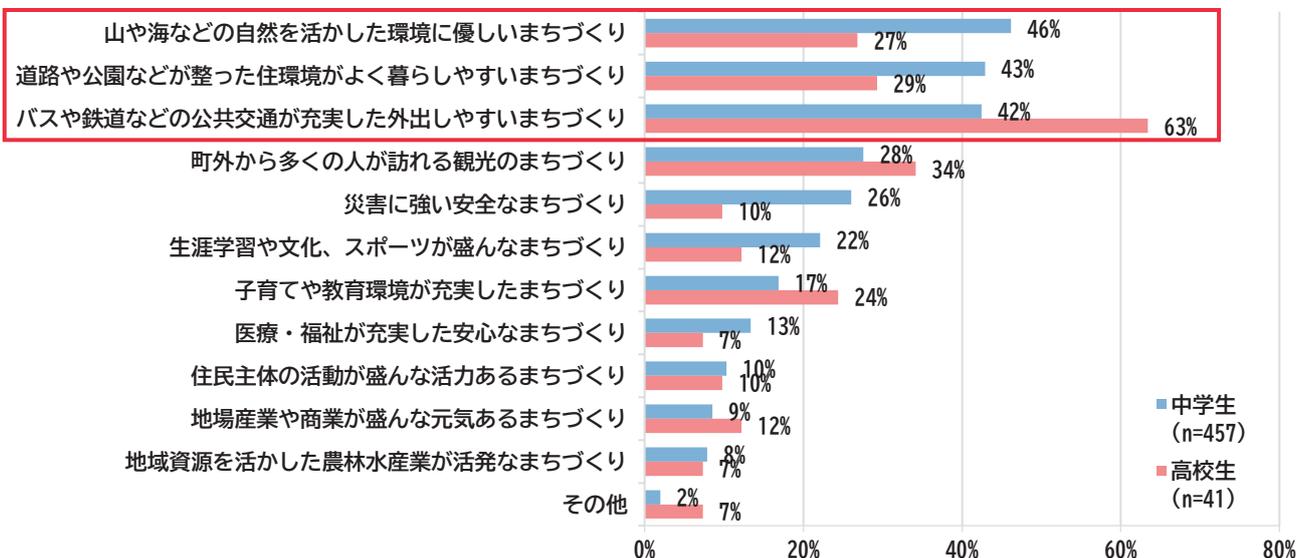
Q. 越前町の不便なところや不安に感じる場所はどこですか？

◆越前町の不便なところ、不安なところについては、中学生では「買い物が不便」「バスなどの交通が不便」を約4割が感じており、高校生では「バスなどの交通が不便」が約8割、「娯楽や余暇を過ごす場が少ない」が約5割と多くなっています。



Q. 越前町が今後のまちづくりに重点を置くべき施策は？

◆重点を置くべきまちづくり施策は、中学生では「山や海などの自然を活かした環境に優しいまちづくり」「道路や公園などが整った住環境がよく暮らしやすいまちづくり」「バスや鉄道などの公共交通が充実した外出しやすいまちづくり」が約4割と多くなっています。高校生では「バスや鉄道などの公共交通が充実した外出しやすいまちづくり」が約6割と最も多くなっています。



第3節 住民ワークショップの開催

1. 開催概要

1) 概要

地区	日時	会場	参加人数
朝日地区	令和7年8月19日(火) 19時～	越前町役場	12名
宮崎地区	令和7年8月22日(金) 19時30分～	宮崎コミュニティセンター	12名
越前地区	令和7年8月25日(月) 19時～	越前コミュニティセンター	15名
織田地区	令和7年8月28日(木) 19時30分～	織田コミュニティセンター	11名

2) ワークショップのテーマと開催状況

テーマ	① 越前町の良い(好きな)ところ・困っているところ ② 越前町で今後取り組むべきこと・取り組みたいこと		
朝日地区			
宮崎地区			
越前地区			
織田地区			

2. 主な意見

①快適で安全に住み続けられるまちづくり

良い（好きな）ところ	・新鮮な魚がある ・景色が良い ・周辺市町（福井市、越前市、鯖江市）に行きやすい（通勤しやすい）	・食べ物（カニ、魚等）がおいしい ・近所付き合いが良い ・自然が豊か ・優しい人が多い
困っているところ	・交通の便が悪い ・子どもの遊び場が少ない	・買物が不便、商業施設が少ない ・空き家・空き地が多い ・施設やインフラが老朽化
今後取り組むべきこと・ 取り組みたいこと	・周辺市町等へのアクセスができる公共交通の運行 ・デマンドタクシーの利便性向上（利用範囲の拡大等） ・インフラの集約 ・空き地、空き家の活用（民泊活用、リノベーション支援等）	・通学バスの運行 ・冬の除雪対策 ・道路の整備 ・公園の整備

②誰もが健康で暮らしやすさを実感できるまちづくり

良い（好きな）ところ	・保育園に入りやすい【朝日、越前】 ・生活や子育てがしやすい【朝日】	・病院や福祉が充実【織田】
困っているところ	・病院が少ない／ない【朝日、宮崎、越前】 ・移住支援が使いにくい	・高齢者の一人暮らしが多い ・子ども／若者が少ない
今後取り組むべきこと・ 取り組みたいこと	・病院間の連携 ・子育て手当の充実	・移住支援の条件緩和、情報発信 ・二地域居住の推進

③人が輝き豊かな心が満ちあふれるまちづくり

良い（好きな）ところ	・住民同士のつながりが深く、人情がある （近所同士のおすそわけ文化があるなど）	・地域のお祭りがある【宮崎】 ・越前町の4地区ともに個性がある
困っているところ	・地域内組織の高齢化 ・地域コミュニティが希薄（異なる世代同士の交流機会がない） ・若者の転出増加	・地域格差がある
今後取り組むべきこと・ 取り組みたいこと	・町民や町外の方が関わり楽しめる、場の提供やイベントの開催 ・地域行事への学生参画 ・四ヶ浦小学校跡地の活用検討 ・地域の方が集える拠点の整備 ・スポーツができる施設（野球場、体育館）の整備	・世代間、地区間、他市町との交流機会の創出 ・小中学校、各団体の再編 ・若者を対象とした地域資源の教育

④人と仕事の活力みなぎるまちづくり

良い（好きな）ところ	・工業が盛ん【宮崎】 ・働ける場所が少ない ・獣害被害が多い	・働きやすい企業が多い（定時で帰れるなど） ・働き手が少ない（特に漁業） ・ICT化が遅れている
今後取り組むべきこと・ 取り組みたいこと	・企業誘致 ・リモートワーク環境の充実	・ジビエ料理店や加工場の整備 ・起業家等への助成金支援

⑤ふるさとの個性を活かし交流を育むまちづくり

良い（好きな）ところ	・ブランドがある（越前がに、越前焼） ・越前陶芸村がある	・温泉が多い ・歴史がある
困っているところ	・観光地を回遊する仕掛けがない ・宿泊施設や飲食店が少ない	・越前町の観光PRが不足
今後取り組むべきこと・ 取り組みたいこと	・観光PRの強化（SNSの活用等） ・地域資源を活用した見学会や体験ツアーの実施 ・山林や海岸の整備	・観光コースの整備 ・宿泊施設の整備 ・古墳公園の再整備 ・聖地のPR

⑥持続可能な健全行財政のまちづくり

良い（好きな）ところ	・公共施設が多い ・公式LINEがある
困っているところ	・本庁に窓口行政サービスが統合されて不便【宮崎】 ・越前町の情報発信やPRが不足
今後取り組むべきこと・ 取り組みたいこと	・越前町のわかりやすい情報発信（行政支援、イベント情報等） ・各種事業の計画等のわかりやすい発信

第4節 今後のまちづくりの課題

町民意識調査結果等を踏まえ、本町における今後のまちづくりの課題を以下に整理します。

1) 快適で安全に住み続けられるまちづくりに向けて

- 前回調査（2019（令和元）年）同様に、優先的に改善すべき（満足度が低く重要度が高い）施策として、「道路網の整備」「公共交通の利便性」「災害の予防対策」が挙げられています。中高生においても、「バスや鉄道などの公共交通が充実した外出しやすいまちづくり」が重点を置くべき施策として挙げられています。
- 特に「公共交通の利便性」の満足度が全項目で最も低くなっており、路線バスの廃線・減便による公共交通の減少が本町の喫緊の課題となっております。そのため、公共交通の確保等に向けた対策を講じる必要があります。
- 「災害の予防対策」に加え、「水道の整備」「下水道等の整備」の重要度が前回調査と比較して上昇しており、ライフライン整備に関する項目の意識（重要度）が高くなっています。
- 住まい・定住支援を実施する上で充実すべき施策として、「若い世代の新婚世帯に対する経済的支援」「空き家情報バンク登録物件の購入や改修、賃借に対する費用の助成」「Uターン移住就職の支援」を充実すべきとの意見が多く、若い世代も含めて働き方・暮らし方にあわせた移住・定住の促進や二地域居住の推進、空き家の活用が求められています。

2) 誰もが健康で暮らしやすさを実感できるまちづくりに向けて

- 保健・医療・福祉に関連する施策については、全体的に満足度や重要度が高く、出産や子育てしやすい環境にあると感じている人も多いことから、本町の「強み」となっています。
- 一方で、「出会い・結婚・出産への支援」「移住者・子育て世帯の受け入れ環境の整備」など安心して結婚・子育て・移住・定住できる環境づくりに関する施策は、総じて満足度が低くなっています。
- 結婚・出産・子育て支援で本町が充実すべき施策では「高校3年生までの子ども医療費の無償化」「保育料の負担軽減などの経済的支援の充実」などの経済的支援や「結婚に対する支援」「学童などの預かりサービスの充実」などの周辺環境整備が求められています。

3) 人が輝き豊かな心が満ちあふれるまちづくりに向けて

- 「学校教育環境の整備」「地域に根ざした教育の推進」については、満足度・重要度ともに高く、一定の評価を得ています。
- 第二次越前町総合振興計画の基本構想で施策推進の基本姿勢として、「ネットワークの構築による協働・連携」を掲げていましたが、協働に対する意識（重要度）は相対的に低くなっており、町民・行政・多様な主体・町外者が連携した持続可能なまちづくりを進めることが必要です。

4) 人と仕事の活力みなぎるまちづくりに向けて

- 優先的に改善すべき施策として、「農業の振興」「水産業の振興」が挙げられているほか、「雇用機会の創出と就労環境整備」の満足度も低くなっています。
- また、農林水産業や商工業などの産業全般に対する満足度が相対的に低く、第一次産業をはじめとする町内産業の活性化が課題となっています。

5) ふるさとの個性を活かし交流を育むまちづくりに向けて

- 優先的に改善すべき施策として、「自然環境の保全」「特産品・越前ブランドの魅力向上」「越前町の観光産業」が挙げられています。特に、「越前町の観光産業」の満足度が低くっており、広域連携による観光客の受け入れ体制の強化や“越前ブランド”の展開など、本町の魅力を継続的に多方面に発信していく必要があります。
- 「自然環境が良い」ことが本町の大きな魅力となっており、今後も豊かな自然を守り育て、地域資源としてさらに磨き上げていく必要があります。一方で、前回調査（2019（令和元）年）と比較して「自然環境の保全」の重要性が高い中、満足度は大きく順位を落としており、環境の保全に向けた取り組みを検討する必要があります。

6) 持続可能な健全行財政のまちづくりに向けて

- 人口減少や少子・高齢化など、本町を取り巻く環境が厳しさを増す中、自主財源の確保と財政運営の効率化による財政の健全運営を図っていくことが重要です。
- また、デジタル化が進むことに期待する分野では、「行政手続き」「保険・医療」「高齢者・障がい者福祉」などが挙げられており、必要な手続きのデジタル化やAIの活用等を推進し、効率的で実効性のある組織体制づくりを進めていく必要があります。

第4章 越前町の将来像

第1節 まちづくりの基本理念

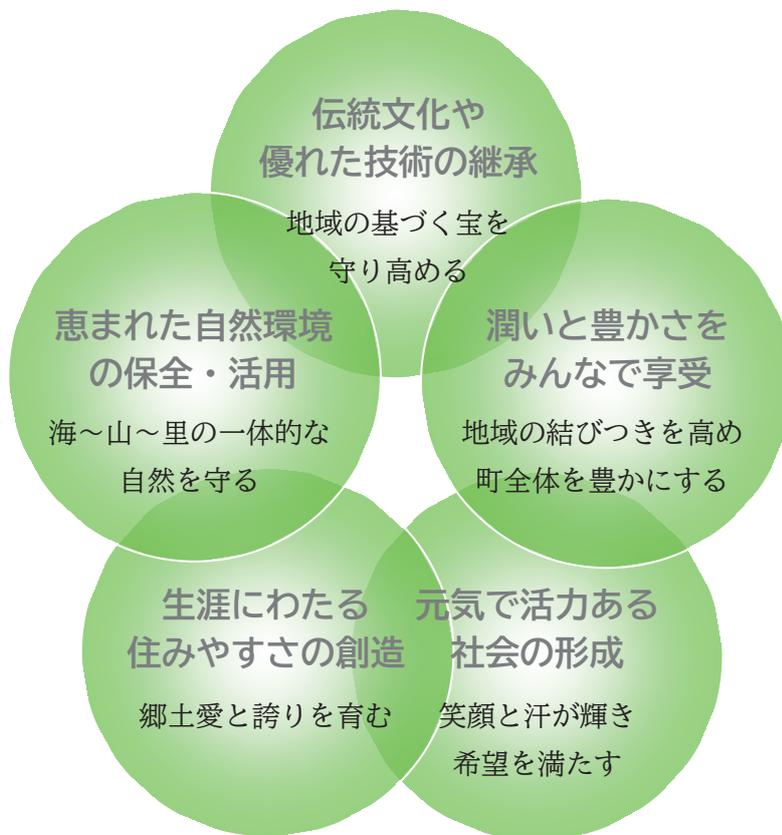
『第2章 越前町の概況』『第3章 町民のまちづくりに対する意識』を踏まえ、本町の今後のまちづくりの推進に際し、基本理念を次のように設定します。

「住み続けたい」まち 地域の資源や特色が活きる 未来志向のまちの実現

【基本理念：5つの普遍的なコンセプト】

本町は、多様な地域資源（宝）を有する個性豊かなまちです。

今後、人口減少が進行しようとも、本町に関わるすべての人々が5つのコンセプトに基づいたまちづくりを実践し、地域の魅力をさらに高め、誇りをもってそれぞれに充実した人生を歩み続けることができる「ふるさと越前町」を目指します。



第2節 将来像

越前町の将来像

— わたしたちは、将来の越前町を以下のようにイメージします —

みどり
人と技 海土里 織りなす 快適なまち
～ 越前 E-town brand の深化 ～

風光明媚な自然環境や長年の歴史に培われた伝統文化、
地域産業を自信と誇りを持った町民が守り育て、
越前ならではの快適な住環境の創造と
文化の香り高いまちづくりを推進します。

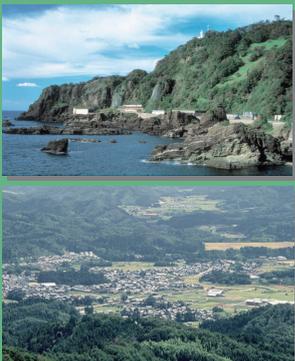


「人」：ひとづくり

…郷土愛にあふれ、もてなしの心を大切にする人々

「技」：産業づくり

…地域に根付いた優れた伝統技術と活力ある産業

みどり
「海土里」：自然と歴史の継承

“海” …美しい景観と豊かな海洋資源

“土” …由緒ある歴史と伝統を育んだ丹生の名の由来ともなる赤い土

“里” …田園と里山が調和した人が集うふるさと

“みどり” …緑に包まれた豊かな自然環境

第3節 基本目標

将来像の実現に向けて、6つの分野別の基本目標を掲げ、施策の展開を図ります。

快適で安全に住み続けられる
まちづくり

—Eternal—

水道や下水道のインフラ整備、道路網の整備や防災・防犯力の強化、新たな公共交通の仕組みづくり等の暮らしの安全を確保し、未永く住み続けられるまちを目指します。

ふるさとの個性を活かし
交流を育むまちづくり

—Excellence—

風光明媚な自然環境や歴史・伝統文化、特産物を有機的に活かし、観光誘客や交流・魅力発信により、“ふるさと越前町”に自信と誇りの持てるまちを目指します。

誰もが健康で暮らしやすさを
実感できるまちづくり

—Everyone—

保健・医療・福祉サービスを充実し、誰もが健康に暮らせるまちを目指します。また、安心して結婚・移住・定住できる環境をつくり、人口や地域活力の維持を目指します。

持続可能な健全行財政の
まちづくり

—Economy—

職員一人ひとりが職務意識を持ち、公共施設の統廃合など、町民の信頼に応える中長期的な展望に立った計画的な財政運営を行いながら、効率的・効果的で持続可能な健全行財政のまちを目指します。

人が輝き豊かな心が
満ちあふれるまちづくり

—Empowerment—

子どもたちが将来に希望を持てるよう、豊かな人間性を育む学習を推進することにより、町民が主体となって地域をよりよくするための活動や交流が盛んなまちを目指します。

人と仕事の活力みなぎる
まちづくり

—Energy—

豊かな自然の恵みに囲まれた農林水産業や伝統工芸、最先端の技術が生み出す魅力ある仕事や職場環境の向上が若者に希望を与え、町民の活力みなぎるまちを目指します。

E-town brand を構成する6つの「E」



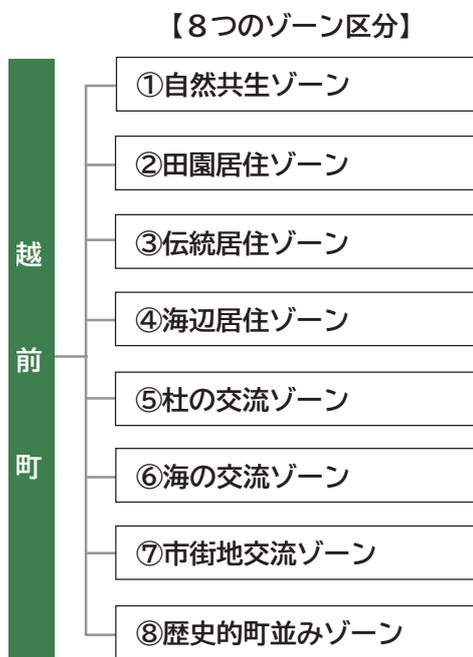
第4節 土地利用構想

1. 土地利用の基本的な考え方

● 地域特性を活かした適正な土地利用の推進

本町は、県内の主要都市である福井市、鯖江市、越前市と隣接していることから、県内外からのアクセス性が高く、地理的に恵まれた環境にあります。また、越前加賀海岸国定公園に指定されている越前海岸等の豊かな自然環境や古くから継承されてきた歴史・伝統文化も数多く存在しています。

このことから、各地域の特性により町を8つのゾーンに区分し、それぞれの自然的・歴史的特性を活かした土地利用を推進することで、本町に在住する全ての人々が安全・快適に住み続けられるまちづくりを実践します。



2. ゾーン別の土地利用の方針

①自然共生ゾーン

泰澄大師が開山した越知山をはじめ、六所山や城山等が連なる丹生山地とそれを取り巻く中山間地域は、貴重な歴史資源や良好な生活環境を形成する上で大切な役割を果たす森林資源を有しています。

この地域を「自然共生ゾーン」と位置づけ、豊かな森林資源を維持・保全しながら付加価値の高い農林業の振興を図ります。

②田園居住ゾーン

越前平野の西端に位置する田園地域は、町役場や県行政機関、高等学校が立地し、都市基盤の整備が比較的進んでいます。

この地域を「田園居住ゾーン」と位置づけ、優良農地の保全を図りながら利便性の高い居住環境を形成するとともに、人・もの・情報の交流拠点としての整備を図ります。また、主要都市に隣接している利点を活かし、企業誘致等により雇用の拡大を図ります。

③伝統居住ゾーン

丹生盆地の中心部に位置する地域は、古くから越前焼の技法を伝承してきた地域であり、織田信長ゆかりの地として歴史・伝統文化を多く有しています。

この地域を「伝統居住ゾーン」と位置づけ、長年にわたり培われてきた歴史・伝統文化を身近に感じられる居住環境の形成を図ります。また、この地域は町の中心部に位置することから、町立織田病院を核とした保健・医療・福祉サービスや消防・防災の拠点地としての整備を図ります。

④海辺居住ゾーン

越前海岸の沿岸地域は、県内一の漁業基地であり、風光明媚な海岸線や越前がに、越前水仙等の観光資源を有する全国有数の観光地となっています。

この地域を「海辺居住ゾーン」と位置づけ、水産業や観光産業との調和を図りつつ、安全で住みやすい居住環境の形成を目指します。また、ゾーンの大半が国定公園に指定されていることから、自然環境に配慮しつつ、沿岸域の限られた土地の有効利用を図ります。

⑤杜の交流ゾーン

自然共生ゾーンの中には、越知山や泰澄の杜、悠久ロマンの杜といった観光・レクリエーション施設が整備されています。

これらが立地する区域を「杜の交流ゾーン」と位置づけ、中山間地域における交流人口の増加を図るため、既存施設を活用したエコツーリズムやグリーンツーリズムの拠点地としての整備を図ります。

⑥海の交流ゾーン

多くの観光客で賑わう越前海岸沿岸地域には、海水浴場に加え、温泉保養施設や道の駅「越前」、越前岬水仙ランド、越前がにミュージアム等の観光・レクリエーション施設が多くあります。

これらが立地する区域を「海の交流ゾーン」と位置づけ、海の恵みを活かしたさらなる魅力の向上や、市街地、中山間地域との連携を強化し、観光産業の拠点地としての整備を図ります。

⑦市街地交流ゾーン

朝日・宮崎・織田地区の市街地周辺には、福井総合植物園プラントピアや古墳公園、越前陶芸村、オタイコ・ヒルズといった観光・レクリエーション施設があります。また、各地区には地域交流の拠点となるコミュニティセンターが存在します。

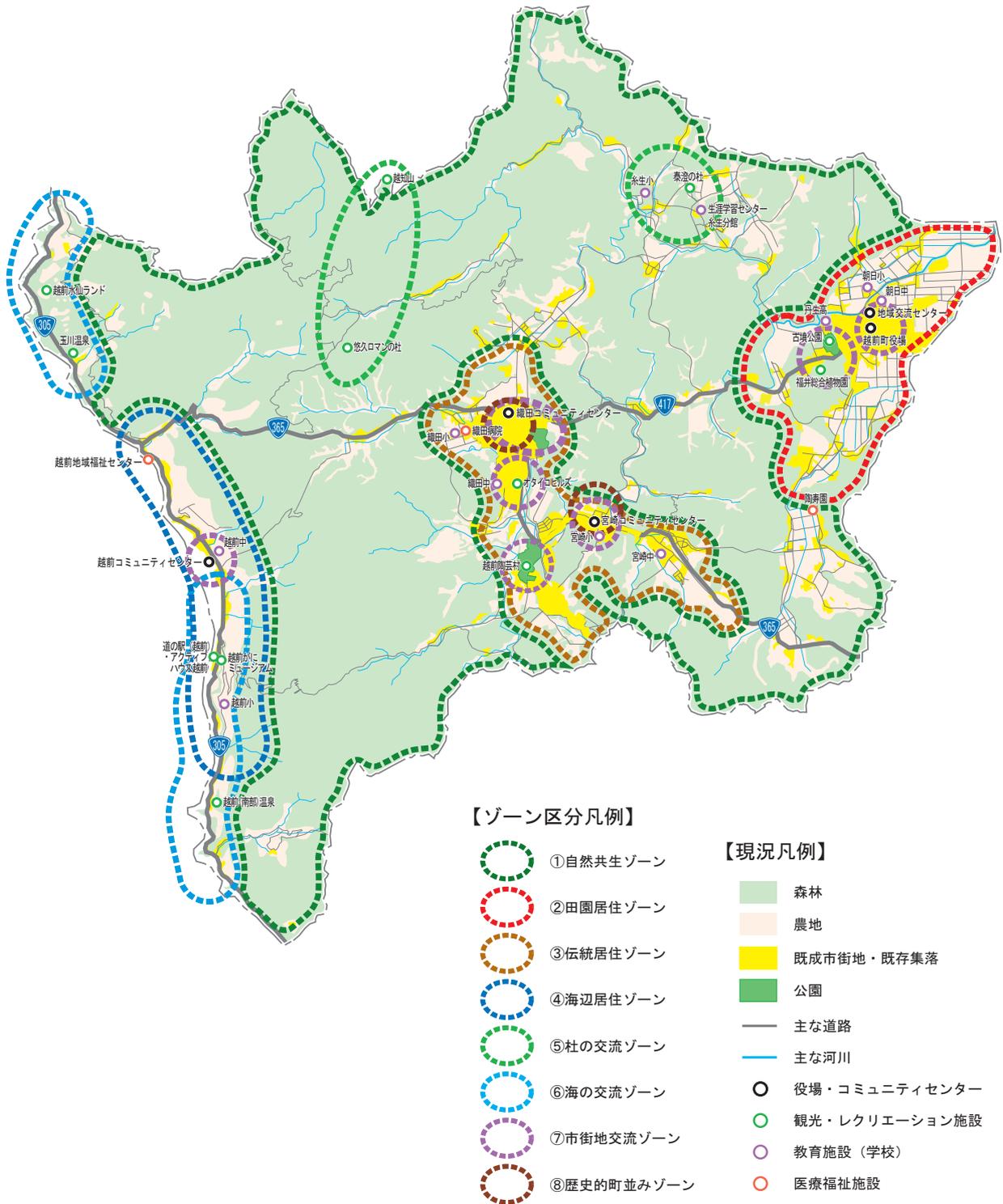
これらが立地する区域を「市街地交流ゾーン」と位置づけ、市街地における交流人口の増加を図るため、商業施設との連携や歴史的町並みゾーンとの調和を図りながら、人が集い、文化の香りがする拠点地としての整備を図ります。

⑧歴史的町並みゾーン

市街地内には、歴史・伝統文化を今に伝える江波地区の切妻屋根・白壁づくり（白漆喰）の町並みや織田地区の劔神社を中心とする町並みがあります。

これらを中心とする区域を「歴史的町並みゾーン」として位置づけ、歴史的町並みの保全・継承を図ります。また、周辺の里山、田園、河川を含め一体的に景観を保全し、歴史・伝統文化の拠点地としての整備を図ります。

3. 土地利用構想



第5章 まちづくりの大綱

第1節 施策推進の基本姿勢

● ネットワークの構築による協働・連携へ

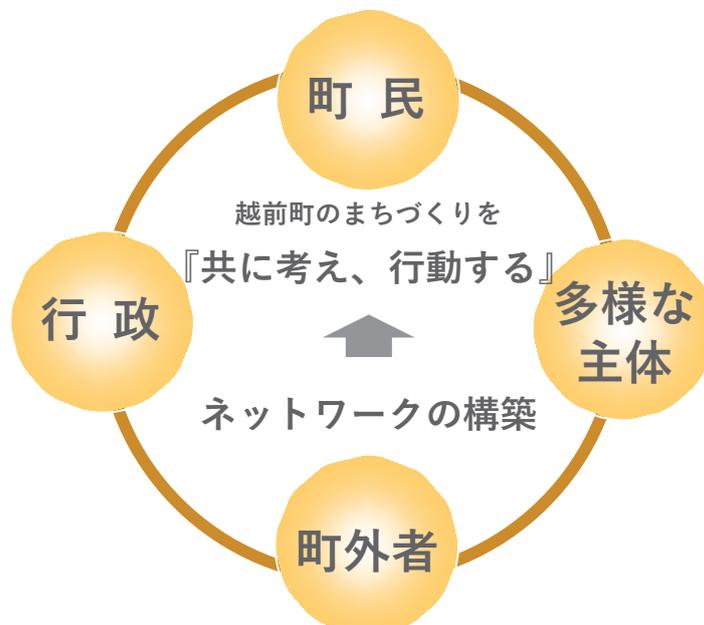
本格的な人口減少や超高齢社会の到来に加え、新型コロナウイルスの流行による生活様式・働き方の変化、DXの進歩など社会経済・環境の大きな変化に直面している今日、行政主導・行政依存によるまちづくりは限界を迎えつつあります。2015(平成27)年以降、国では、人口の減少に歯止めをかけるとともに、東京圏への人口の過度の集中を是正することを目的に「まち・ひと・しごと創生法」の制定及び「まち・ひと・しごと創生基本方針」「まち・ひと・しごと創生総合戦略」を推進してきましたが、人口減少・東京圏への一極集中の流れは変えることができませんでした。

2025(令和7)年1月に出された「地方創生2.0に向けた取組について」では、“当面の間は人口が減少する現状を受け入れた上で、人口規模が縮小しても経済成長し、社会を機能させる適応策を講じる”とされています。

こうした社会的な流れの中、地域固有の産業の振興をはじめ、農山漁村に息づく伝統文化の活用や地域コミュニティの強化など、活力と潤いのある住みやすいまちづくりを推進するためには、町民の参画と協働が重要です。

今後の本町のまちづくりにおいても、人口・生産年齢人口が減少する事態を受け入れた上で、町民同士、町民と行政あるいは産・官・学・金・労・言をはじめとする多様な主体、交流人口・関係人口等の町外者が協働・連携することでネットワークを構築し、『共に考え、行動する』ことにより、将来像の実現を目指します。

町民、行政、多様な主体、町外者が相互の綿密なコミュニケーションを通じて、各々が果たすべき役割を認識し、地域のニーズに即した効率的・効果的施策を実践することにより、協働・連携によるまちづくりを展開します。



第2節 施策の大綱

1. 快適で安全に住み続けられるまちづくり

1-1. 住みやすいまちを演出する都市基盤・公共施設の充実

○便利で快適なまちの形成を目指し、町全体の土地利用方針を踏まえながら、道路・公園・宅地・上下水道・情報通信・公共交通といった生活基盤の充実を図ります。また、今後の人口減少に伴ってさらに進行するであろう空き家・空き地問題など総合的な対策を推進し、持続可能な都市基盤の構築を目指します。

1-2. 暮らしの安全確保

○安全に安心して住み続けられる環境づくりを目指し、近年増加傾向にある自然災害への対応や大規模災害への備え、防犯対策の強化、交通安全の確保に向けた対策など、防災力・防犯力の強化を図り、地域住民と行政の協働による地域力の強化を推進します。

2. 誰もが健康で暮らしやすさを実感できるまちづくり

2-1. 安心して住み続けられる保健・医療と福祉の充実

○誰もが生涯にわたって健康に暮らし続けられるまちを目指し、町民の健康づくりや保健・医療環境の向上、超高齢社会を見据えた高齢者福祉の充実、人口減少対策の要となる子育て支援の強化、地域の支え合いを軸とした障がい者福祉の充実、社会保障制度の健全運営と周知・啓発を図ります。

2-2. 安心して結婚・移住・定住できる環境づくり

○若い世代が安心して結婚・移住・定住できるまちを目指し、出会い・結婚・出産に対する切れ目のない支援を図るとともに、UIターン者の受け入れ体制の強化や積極的な誘致活動の展開による移住・定住を促進し、将来的な人口の確保と地域活力の維持・向上に努めます。

3. 人が輝き豊かな心が満ちあふれるまちづくり

3-1. 町民主体のまちづくりの推進

○町民がイキイキと活躍できるまちを目指し、町民・行政・多様な主体・町外者のネットワークの構築を図りながら、協働によるまちづくり活動の推進や地域課題解決のためのビジネスの場の創出など、町民主体のまちづくりを推進します。また、男女共同参画の取り組みを展開し、男女ともに活躍できる地域社会の実現を図ります。

3-2. 次世代を担う人材育成

○町の発展を支える心豊かな人材の育成・輩出を目指し、家庭・地域・学校・行政が一丸となって、地域コミュニティの育成や生涯学習体制・教育環境の充実、生涯スポーツ・競技スポーツの振興を図ります。また、国際交流活動を推進し、グローバルに活躍できる人材の育成を図ります。

4. 人と仕事の活力みなぎるまちづくり

4-1. 地域資源と共生する産業の振興

○豊かな自然等の地域資源を活かした産業活力のあるまちを目指し、農林水産業の担い手の育成や農業生産基盤の整備、森林資源や水産資源の確保、6次産業化やブランド化の支援、商店街の振興や異業種間交流の推進、越前焼を活かした伝統産業の振興等を図ります。また、農林水産業における、スマート農業等の新技術の導入や森林の集約化、漁港の統廃合等を検討し、効率性が高い事業経営を目指します。

4-2. 雇用環境の充実

○魅力ある働き方、職場づくり、人づくりにより、豊かな生活を送ることができるように、創業支援や産学官連携の推進による新規産業の育成、地域産業の活性化や企業誘致等による雇用の創出、就労環境の向上を図り、若者・女性にも選ばれるまちを目指します。

5. ふるさとの個性を活かし交流を育むまちづくり

5-1. 観光地としての新たな魅力向上

○海・山・里の観光資源を活かした交流が盛んなまちを目指し、越前陶芸村、道の駅「越前」、織田劔神社周辺等の交流拠点施設の再整備をはじめ、福井総合植物園プラントピア等の観光資源の魅力向上や、観光客・団体客の受け入れ体制の強化、「越前ブランド」のさらなる展開と多方面へのPRを図ります。

5-2. まちの魅力となる地域資源の保存と継承

○連綿と受け継がれてきた自然・歴史・文化が息づくまちを目指し、環境基本計画等に基づく自然環境の保全やごみの減量化・5R運動の推進等による循環型社会の形成、織田文化歴史館を核とした文化財の保護・継承を図ります。

6. 持続可能な健全行財政のまちづくり

6-1. 自主自立型の行財政基盤の確立

○町民の信頼に応える健全行財政のまちを目指し、多様化する町民ニーズに応じた行政サービスの向上やSNS等を活用した町民に分かりやすい情報の発信、ふるさと納税等による自主財源の確保と公共施設の統廃合等による財政運営の効率化、近隣市町との連携による広域行政・広域交流の推進を図ります。

第3節 施策の体系

第三次越前町総合振興計画では、施策の大綱に基づき、以下に示す 45 の施策区分について、各種施策や事業を展開します。

1. 快適で安全に住み続けられるまちづくり

1-1. 住みやすいまちを演出する都市基盤・公共施設の充実

【施策区分：9施策】

- | | | |
|------------|---------------|-------------|
| ①道路網の整備 | ②水道の整備 | ③下水道の整備 |
| ④情報通信基盤の整備 | ⑤憩いの場の整備 | ⑥適正な土地利用の推進 |
| ⑦宅地・住宅の整備 | ⑧総合的な空き家対策の推進 | ⑨公共交通の充実 |

1-2. 暮らしの安全確保

【施策区分：4施策】

- | | | |
|------------|-------------|----------|
| ①災害の予防 | ②防災・救急体制の充実 | ③防犯対策の強化 |
| ④交通安全対策の充実 | | |

2. 誰もが健康で暮らしやすさを実感できるまちづくり

2-1. 安心して住み続けられる保健・医療と福祉の充実

【施策区分：7施策】

- | | | |
|-----------------|----------------|-----------|
| ①健康づくりの推進 | ②保健事業の推進 | ③医療環境の充実 |
| ④子育て支援・少子化対策の充実 | | ⑤高齢者福祉の充実 |
| ⑥障がい者福祉の充実 | ⑦安定した社会保障制度の運営 | |

2-2. 安心して結婚・移住・定住できる環境づくり

【施策区分：2施策】

- | |
|----------------------|
| ①結婚・出産しやすい環境と交流機会の創出 |
| ②若者や子育て世代の移住定住促進 |

3. 人が輝き豊かな心が満ちあふれるまちづくり

3-1. 町民主体のまちづくりの推進

【施策区分：2施策】

- | | |
|-------------------|--------------|
| ①町民と協働できるまちづくりの推進 | ②男女共同参画社会の推進 |
|-------------------|--------------|

3-2. 次世代を担う人材育成

【施策区分：6施策】

- | | | |
|---------------|------------|-------------|
| ①生涯学習体制の充実 | ②生涯スポーツの振興 | ③学校教育環境の充実 |
| ④地域に根ざした教育の推進 | ⑤国際交流の推進 | ⑥丹生高校の育成・支援 |

4. 人と仕事の活力みなぎるまちづくり

4-1. 地域資源と共生する産業の振興

【施策区分：5施策】

- ①農業の振興
- ②林業の振興
- ③水産業の振興
- ④商工業の振興
- ⑤伝統産業の振興

4-2. 雇用環境の充実

【施策区分：2施策】

- ①新規産業の育成
- ②雇用機会創出と環境整備

5. ふるさとの個性を活かし交流を育むまちづくり

5-1. 観光地としての新たな魅力向上

【施策区分：2施策】

- ①観光産業の活性化
- ②特産品の魅力向上

5-2. まちの魅力となる地域資源の保存と継承

【施策区分：3施策】

- ①自然環境の保全
- ②循環型社会の形成
- ③文化財の保護・継承

6. 持続可能な健全行財政のまちづくり

6-1. 自主自立型の行財政基盤の確立

【施策区分：3施策】

- ①情報公開の推進
- ②財政の健全運営
- ③広域行政・広域交流の推進

第4節 SDGs（持続可能な開発目標）との関連性

基本計画の推進にあたっては、SDGs の理念に沿って、町民や地域団体、NPO、企業等の多様な主体と連携・分担を行い、社会・経済・環境に関わる様々な課題を、総合的な視点をもって解決していきます。基本計画の施策と SDGs との対応については下表のとおりです。

<参考>SDGs（持続可能な開発目標）とは

- ・2015年9月の国連サミットで採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」にて記載された2030年までに持続可能でよりよい世界を目指す国際目標。
- ・17のゴール、169のターゲットから構成され、地球上の「誰一人取り残さない（leave no one behind）」ことを誓っている。



【SDGs（17の目標）の視点に基づく第三次越前町総合振興計画の施策体系】

	SDGs(17の目標)																
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
基本目標	1 貧困をなくそう	2 飢餓をゼロに	3 すべての人に健康と福祉を	4 質の高い教育をみんなに	5 ジェンダー平等を実現しよう	6 安全な水とトイレを世界中に	7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに	8 働きがいも経済成長も	9 産業と技術革新の基盤をつくろう	10 人や国の不平等をなくそう	11 住み続けられるまちづくりを	12 つくる責任 つかう責任	13 気候変動に具体的な対策を	14 海の豊かさを守ろう	15 陸の豊かさを守ろう	16 平和と公正をすべての人に	17 パートナリシップで目標を達成しよう
1. 快適で安全に住み続けられるまちづくり	●		●			●		●		●	●	●		●	●	●	●
2. 誰もが健康で暮らしやすさを実感できるまちづくり	●	●	●	●	●			●		●	●					●	●
3. 人が輝き豊かな心が満ちあふれるまちづくり				●	●					●	●	●		●	●	●	●
4. 人と仕事の活力みなぎるまちづくり		●		●	●			●	●			●		●	●		●
5. ふるさとの個性を活かし交流を育むまちづくり							●	●	●		●	●		●	●		●
6. 持続可能な健全行財政のまちづくり								●	●		●						●

□グランプリ



「急傾斜で大変」

□準グランプリ



「黄昏（たそがれ）」